

4 使用料、受益者負担金

(1) 下水道使用料

- ① 有収水量と有収率の推移
- ② 下水道使用料の単価表
- ③ 下水道使用料調定

(2) 下水道事業受益者負担金・分担金

- ① 受益者負担金・分担金の額
- ② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況

(3) 水洗化の促進

- ① 融資制度
- ② 融資の状況

(4) 私道への公共下水道布設制度

4 使用料、受益者負担金

(1) 下水道使用料

① 有収水量と有収率の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
汚水処理水量(千 m^3)	26,514	26,309	28,030	29,774	28,631
有収水量(千 m^3)	23,369	23,492	23,606	23,983	24,042
有収率(%)	88.1	89.3	84.2	80.6	84.0

② 下水道使用料の単価表

(平成20年4月1日改定)

区 分	基本使用料 (1 か月につき)	従量使用料 (1 か月につき)	
		10 m^3 を超え 20 m^3 まで	1 m^3 につき 155 円
一 般 汚 水	10 m^3 まで 1,260 円	20 m^3 を超え 50 m^3 まで	1 m^3 につき 176 円
		50 m^3 を超え 100 m^3 まで	1 m^3 につき 196 円
		100 m^3 を超え 200 m^3 まで	1 m^3 につき 238 円
		200 m^3 を超え 300 m^3 まで	1 m^3 につき 270 円
		300 m^3 を超え 500 m^3 まで	1 m^3 につき 290 円
		500 m^3 を超え 1000 m^3 まで	1 m^3 につき 293 円
		1000 m^3 を超える分	1 m^3 につき 296 円
		公衆浴場汚水	10 m^3 まで 1,260 円

※ 消費税相当額を含まない

※ 従量使用料は、従量使用料欄の水量の区分に従い、使用水量をそれぞれの区分ごとに分割して算出した額の合計額とする

③ 下水道使用料調定

年月		内訳	調定	収入額	未収累計額
令和3年	4月	件数(件)	55,985	119	55,866
		金額(円)	363,824,632	209,942	363,614,690
5月		件数(件)	52,465	46,540	61,791
		金額(円)	402,790,172	302,064,838	464,340,024
6月		件数(件)	56,130	48,249	69,672
		金額(円)	377,842,567	386,582,313	455,600,278
7月		件数(件)	52,474	56,030	66,116
		金額(円)	400,185,517	376,297,444	479,488,351
8月		件数(件)	56,312	52,737	69,691
		金額(円)	387,541,117	399,146,398	467,883,070
9月		件数(件)	52,604	55,964	66,331
		金額(円)	406,362,543	380,228,141	494,017,472
10月		件数(件)	56,479	52,330	70,480
		金額(円)	373,323,403	398,568,379	468,772,496
11月		件数(件)	52,687	54,360	68,807
		金額(円)	404,715,219	376,303,958	497,183,757
12月		件数(件)	56,593	54,981	70,419
		金額(円)	384,604,118	424,086,806	457,701,069
令和4年	1月	件数(件)	52,667	55,272	67,814
		金額(円)	411,986,799	364,574,606	505,113,262
2月		件数(件)	56,534	51,611	72,737
		金額(円)	380,779,171	393,998,488	491,893,945
3月		件数(件)	53,675	56,137	70,275
		金額(円)	390,289,863	398,450,677	483,733,131
令和3年度		件数(件) (対前年度比%)	654,605 (101.7)	584,330 (101.5)	70,275 (103.7)
		金額(円) (対前年度比%)	4,684,245,121 (100.7)	4,200,511,990 (100.8)	483,733,131 (99.7)

令和2年度		件数(件) (対前年度比%)	643,392 (101.7)	575,619 (102.0)	67,773 (99.3)
		金額(円) (対前年度比%)	4,653,883,782 (101.3)	4,168,455,481 (101.9)	485,428,301 (96.1)
令和元年度		件数(件) (対前年度比%)	632,542 (102.1)	564,263 (102.0)	68,279 (102.5)
		金額(円) (対前年度比%)	4,594,914,518 (100.9)	4,089,653,392 (100.8)	505,261,126 (101.9)
平成30年度		件数(件) (対前年度比%)	619,563 (102.5)	552,979 (102.5)	66,584 (102.4)
		金額(円) (対前年度比%)	4,554,860,270 (100.1)	4,058,936,023 (100.2)	495,924,247 (99.9)
平成29年度		件数(件) (対前年度比%)	604,323 (102.3)	539,306 (102.2)	65,017 (102.9)
		金額(円) (対前年度比%)	4,549,164,764 (101.2)	4,052,724,903 (101.2)	496,439,861 (101.1)

※金額は消費税及び地方消費税を含む。

※令和2年度の収入額及び未収累計額について、件数及び金額に一部誤りがあったため修正済み。

(2) 下水道事業受益者負担金・分担金

「受益者負担金・分担金制度」は、下水道整備により利益を受ける地域の皆様に、土地の面積に応じて建設費用の一部を負担していただく制度です。

① 受益者負担金・分担金の額

下水道供用開始区域内の土地の面積に1㎡当たり171円を乗じて得た額

② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況

・受益者負担金（旧久留米地域、三潴町、北野町 ※令和2年度以降は田主丸町、城島町含む）

年度	調定額（円）	収納額（円）	収納率(%)
令和3年度	80,541,720	78,528,890	97.50
令和2年度	74,265,990	72,230,150	97.26
令和元年度	61,663,380	59,209,980	96.02
平成30年度	69,398,360	66,317,430	95.56
平成29年度	86,820,040	83,472,610	96.14

・受益者分担金（田主丸町、城島町 ※令和2年度以降は分割納付分のみ）

年度	調定額（円）	収納額（円）	収納率(%)
令和3年度	3,042,690	2,784,780	91.52
令和2年度	4,319,590	3,742,380	86.64
令和元年度	20,171,510	18,875,230	93.57
平成30年度	16,940,260	15,673,980	92.53
平成29年度	24,452,340	23,392,230	95.66

(3) 水洗化の促進

① 融資制度

水洗便所の改造工事に要する費用を一時に負担することが困難な方のために、融資あっせん制度を設けています。

- ・取扱金融機関 福岡銀行 福岡県信用組合 筑後信用金庫
久留米市農業協同組合（JAくるめ）
筑邦銀行 西日本シティ銀行 大川信用金庫
にじ農業協同組合（JAにじ） 福岡大城農業協同組合（JA福岡大城）
三潴町農業協同組合（JAみづま） （※いずれも市内の本店及び各支店）
- ・融資金額 13万円～52万円
- ・償還利率 年利1.20%（R3.4.1現在）
- ・償還方法 融資した日の属する月の翌日から毎月均等償還（元利均等償還）
- ・融資の条件
 - 家屋の所有者又はその所有者の同意を得た使用者であること
 - 市内に住所を有し、市内に住んでいる者であること
 - 独立の生計を営む者であること
 - 工事の費用を一時に負担することが困難な者であること
 - 借受けた資金の償還及び利息の支払能力を十分有すること
 - 市税及び下水道受益者負担金を滞納していないこと
 - 身元確実な連帯保証人があること（ただし、市内に住所を有し、独立の生計を営み、かつ、市税及び下水道受益者負担金を滞納していない者）
- ・利子補給 融資あっせん制度を利用した下水道接続工事について、元金と利息を完済後、利子の補給をいたします（元金52万円の利子額が上限となります）。

② 融資の状況

（令和3年度末現在）

年度	融資件数(件)	融資金額(万円)	確認申請件数(件)	借受率(%)	平均融資金額(円)
令和3年度	6	294	1,880	0.3	490,000
令和2年度	14	700	1,627	0.9	500,000
令和元年度	13	618	1,817	0.7	475,385
平成30年度	15	682	1,917	0.8	454,667
平成29年度	20	1,216	1,977	1.0	608,000

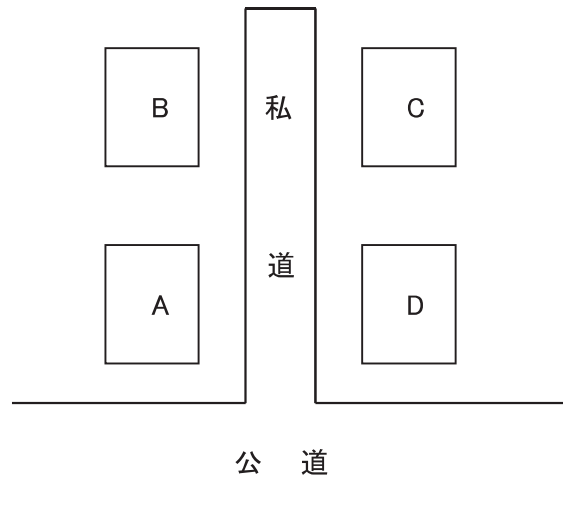
(4) 私道への公共下水道布設制度

私道に面する家屋の下水道利用を促進するため、私道関係者の申請に基づき、一定の要件を備えていれば、市が公共下水道を布設しています。

対象になる私道 生活道路として利用されている道路

- 主な要件
1. 道路の一端が公道に接していること
 2. 公道に面した家屋(A及びD)を除いて2戸以上あること。かつ、その家屋(B及びC)が同一人の所有に属さないこと
 3. 私道の所有者全員が公共下水道の布設を承諾していること

【 イメージ図 】



私道布設実績 (令和3年度末現在)

年 度	私道布設件数	受益棟数
平成 29 年度以前	1,007	6, 526
平成 30 年度	15	59
令和元年度	10	43
令和 2 年度	8	27
令和 3 年度	10	23
累 計	1, 050	6, 678

5 経理統計

(1) 決算状況

- ① 収益的収支年次表
- ② 資本的収支年次表
- ③ 資産・負債・資本対比表

(2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析

- ① 1 m³当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表
- ② 汚水処理原価構成表

(3) 企業債借入残高状況

(4) 経営分析表

(5) キャッシュ・フロー計算書

5 経理統計

(1) 決算状況

① 収益的収支年次表

科目	平成29年度		平成30年度			金額(千円)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	
下水道事業収益	6,544,564	100.0	6,566,138	100.0	100.3	7,038,493
営業収益	4,555,436	69.6	4,585,527	69.8	100.7	4,613,847
下水道収益	4,212,468	64.4	4,217,749	64.2	100.1	4,228,584
雨水処理負担金	243,969	3.7	255,059	3.9	104.5	273,360
その他営業収益	98,999	1.5	112,719	1.7	113.9	111,903
営業外収益	1,985,421	30.3	1,979,025	30.2	99.7	2,421,589
受取利息及び配当金	7	0.0	5	0.0	71.4	7
他会計補助金	627,373	9.6	609,778	9.3	97.2	600,577
長期前受金戻入	1,354,788	20.7	1,366,258	20.8	100.8	1,815,809
雑収益	3,253	0.0	2,984	0.1	91.7	5,196
特別利益	3,707	0.1	1,586	0.0	42.8	3,057
過年度損益修正益	311	0.0	405	0.0	130.2	227
その他特別利益	3,396	0.1	1,181	0.0	34.8	2,830
下水道事業費用	6,192,529	100.0	6,286,889	100.0	101.5	6,373,414
営業費用	5,185,632	83.7	5,331,230	84.8	102.8	5,461,201
管渠費	444,670	7.2	439,825	7.0	98.9	510,109
ポンプ場費	137,233	2.2	120,707	1.9	88.0	118,081
処理場費	872,800	14.1	914,439	14.5	104.8	947,197
雨水施設費	65,000	1.0	49,991	0.8	76.9	63,897
業務費	133,193	2.2	164,890	2.6	123.8	127,423
総係費	107,109	1.7	111,721	1.8	104.3	113,377
減価償却費	3,401,669	54.9	3,481,239	55.4	102.3	3,558,242
資産減耗費	23,958	0.4	48,418	0.8	202.1	22,875
営業外費用	1,006,052	16.3	952,261	15.1	94.7	902,124
支払利息及び企業債取扱諸費	995,341	16.1	940,921	14.9	94.5	889,565
雑支出	10,711	0.2	11,340	0.2	105.9	12,559
特別損失	845	0.0	3,398	0.1	402.1	10,089
固定資産売却損	14	0.0	—	—	皆減	—
過年度損益修正損	823	0.0	3,398	0.1	412.9	8,049
その他特別損失	8	0.0	—	—	皆減	2,040
純利益	352,035	—	279,249	—	79.3	665,079
当年度未処分利益剰余金	695,402	—	634,652	—	91.3	949,731

(消費税抜き)

令和元年度		令和2年度			令和3年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	107.2	7,350,879	100.0	104.4	7,368,452	100.0	100.2
65.6	100.6	4,696,310	63.9	101.8	4,783,557	65.0	101.9
60.1	100.3	4,230,931	57.6	100.1	4,258,522	57.8	100.7
3.9	107.2	297,096	4.0	108.7	388,426	5.3	130.7
1.6	99.3	168,283	2.3	150.4	136,609	1.9	81.2
34.4	122.4	2,642,783	36.0	109.1	2,574,957	34.9	97.4
0.0	140.0	8	0.0	114.3	—	—	皆減
8.5	98.5	576,640	7.9	96.0	455,355	6.2	79.0
25.8	132.9	2,063,043	28.1	113.6	2,116,640	28.7	102.6
0.1	174.1	3,092	0.0	59.5	2,962	0.0	95.8
0.0	192.7	11,786	0.1	385.5	9,938	0.1	84.3
0.0	56.0	8,937	0.1	3937.0	6,732	0.1	75.3
0.0	239.6	2,849	0.0	100.7	3,206	0.0	112.5
100.0	101.4	6,506,988	100.0	102.1	6,603,385	100.0	101.5
85.7	102.4	5,542,326	85.1	101.5	5,779,204	87.5	104.3
8.0	116.0	357,690	5.5	70.1	367,031	5.6	102.6
1.8	97.8	127,161	2.0	107.7	131,604	2.0	103.5
14.9	103.6	978,186	15.0	103.3	1,045,158	15.8	106.8
1.0	127.8	90,977	1.4	142.4	173,861	2.6	191.1
2.0	77.3	106,941	1.6	83.9	105,105	1.6	98.3
1.8	101.5	126,489	1.9	111.6	103,894	1.6	82.1
55.8	102.2	3,696,432	56.8	103.9	3,817,808	57.8	103.3
0.4	47.2	58,450	0.9	255.5	34,743	0.5	59.4
14.2	94.7	843,621	13.0	93.5	820,163	12.5	97.2
14.0	94.5	827,207	12.7	93.0	789,240	12.0	95.4
0.2	110.7	16,414	0.3	130.7	30,923	0.5	188.4
0.1	296.9	121,041	1.9	1199.7	4,018	0.0	3.3
—	—	—	—	—	27	0.0	皆増
0.1	236.9	4,530	0.1	56.3	3,267	0.0	72.1
0.0	皆増	116,511	1.8	5711.3	724	0.0	0.6
—	238.2	843,891	—	126.9	765,067	—	90.7
—	149.6	848,623	—	89.4	2,278,690	—	268.5

② 資本的収支年次表

区分	年度および金額	平成29年度		平成30年度		
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
収入合計		8,944,785	100.0	7,402,976	100.0	82.8
企業債		5,909,700	66.1	4,126,700	55.8	69.8
補助金		1,690,790	18.9	2,482,569	33.5	146.8
負担金		844,281	9.4	793,707	10.7	94.0
他会計からの長期借入金		500,000	5.6	-	-	皆減
固定資産売却代金		14	0.0	-	-	皆減
支出合計		10,309,728	100.0	9,846,643	100.0	95.5
建設改良費		6,711,986	65.1	6,306,461	64.0	94.0
企業債償還金		3,597,742	34.9	3,540,182	36.0	98.4
他会計からの 長期借入金償還金		-	-	-	-	-
前年度一時借入金(起債前借)		3,811,700		2,937,400		77.1
補てん財源		5,176,643	100.0	5,381,067	100.0	103.9
過年度消費税及び地方消費 税資本的収支調整額		-	-	-	-	-
当年度消費税及び地方消費 税資本的収支調整額		232,352	4.5	218,710	4.1	94.1
減債積立金		340,000	6.6	350,000	6.5	102.9
過年度分損益勘定留保資金		325,352	6.3	729,288	13.5	224.2
当年度分損益勘定留保資金		1,341,539	25.9	8,269	0.2	0.6
一時借入金(起債前借)		2,937,400	56.7	4,074,800	75.7	138.7

(消費税込み)

令和元年度			令和2年度			令和3年度		
金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
8,018,799	100.0	108.3	9,931,091	100.0	123.8	9,972,476	100.0	100.4
5,691,600	71.0	137.9	5,391,000	54.3	94.7	6,311,900	63.3	117.1
1,548,965	19.3	62.4	3,761,635	37.9	242.8	2,343,776	23.5	62.3
778,234	9.7	98.1	778,456	7.8	100.0	816,773	8.2	104.9
-	-	-	-	-	-	500,000	5.0	皆増
-	-	-	-	-	-	27	0.0	皆増
12,178,441	100.0	123.7	9,522,091	100.0	78.2	14,289,675	100.0	150.1
8,561,177	70.3	135.8	5,935,848	62.3	69.3	9,995,529	69.9	168.4
3,617,264	29.7	102.2	3,586,243	37.7	99.1	3,794,146	26.6	105.8
-	-	-	-	-	-	500,000	3.5	皆増
4,074,800		138.7	4,414,200		108.3	4,005,200		90.7
8,234,442	100.0	153.0	4,005,200	100.0	48.6	8,322,399	100.0	207.8
-	-	-	-	-	-	104,000	1.3	皆増
240,028	2.9	109.7	-	-	皆減	293,138	3.5	皆増
280,000	3.4	80.0	-	-	皆減	1,510,000	18.1	皆増
2,155,131	26.2	295.5	-	-	皆減	2,304,864	27.7	皆増
1,145,083	13.9	13,847.9	-	-	皆減	808,297	9.7	皆増
4,414,200	53.6	108.3	4,005,200	100.0	90.7	3,302,100	39.7	82.4

③ 資産・負債・資本対比表

科目	平成29年度		平成30年度		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
資産合計	116,265,146	100.0	120,112,027	100.0	103.3
資産の部	116,265,146	100.0	120,112,027	100.0	103.3
固定資産	111,570,128	96.0	113,999,394	94.9	102.2
有形固定資産	111,570,128	96.0	113,999,394	94.9	102.2
土地	4,844,040	4.2	4,844,040	4.0	100.0
建物	5,388,182	4.6	5,225,594	4.4	97.0
構築物	93,572,938	80.5	96,019,144	80.0	102.6
機械及び装置	6,776,795	5.9	6,533,777	5.4	96.4
車両運搬具	78	0.0	79	0.0	101.3
工具器具及び備品	27,920	0.0	28,883	0.0	103.4
建設仮勘定	960,175	0.8	1,347,877	1.1	140.4
流動資産	4,695,018	4.0	6,112,633	5.1	130.2
現金及び預金	2,475,292	2.1	2,689,318	2.2	108.6
未収金	1,671,715	1.4	2,229,504	1.9	133.4
貸倒引当金	△ 21,814	△ 0.0	△ 21,019	△ 0.0	96.4
貯蔵品	-	-	-	-	-
前払金	569,825	0.5	1,214,830	1.0	213.2
負債資本合計	116,265,146	100.0	120,112,027	100.0	103.3
負債の部	105,158,792	90.4	108,307,409	90.2	103.0
固定負債	56,659,023	48.7	57,196,553	47.6	100.9
企業債	56,088,004	48.2	56,596,789	47.1	100.9
他会計借入金	500,000	0.4	500,000	0.4	100.0
引当金	71,019	0.1	99,764	0.1	140.5
流動負債	9,502,963	8.2	10,751,873	9.0	113.1
一時借入金	2,937,400	2.5	4,074,800	3.4	138.7
企業債	3,539,273	3.1	3,617,006	3.1	102.2
他会計借入金	-	-	-	-	-
未払金	2,953,025	2.6	2,998,209	2.5	101.5
引当金	34,230	0.0	34,214	0.0	100.0
その他流動負債	39,035	0.0	27,644	0.0	70.8
繰延収益	38,996,806	33.5	40,358,983	33.6	103.5
長期前受金	38,276,458	32.9	38,752,879	32.3	101.2
建設仮勘定長期前受金	720,348	0.6	1,606,104	1.3	223.0
資本の部	11,106,354	9.6	11,804,618	9.8	106.3
資本金	8,037,330	6.9	8,796,344	7.3	109.4
資本金	8,037,330	6.9	8,796,344	7.3	109.4
剰余金	3,069,024	2.7	3,008,274	2.5	98.0
資本剰余金	2,373,622	2.1	2,373,622	2.0	100.0
受贈財産評価額	516,874	0.5	516,874	0.5	100.0
国県市補助金	1,856,748	1.6	1,856,748	1.5	100.0
利益剰余金	695,402	0.6	634,652	0.5	91.3
減債積立金	-	-	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	695,402	0.6	634,652	0.5	91.3

(消費税抜き)

令和元年度			令和2年度			令和3年度		
金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
123,040,238	100.0	102.4	127,921,516	100.0	104.0	132,326,667	100.0	103.4
123,040,238	100.0	102.4	127,921,516	100.0	104.0	132,326,667	100.0	103.4
118,373,726	96.2	103.8	120,259,496	94.0	101.6	125,705,256	95.0	104.5
118,373,726	96.2	103.8	120,259,496	94.0	101.6	125,705,256	95.0	104.5
4,844,040	3.9	100.0	4,844,040	3.8	100.0	4,844,040	3.7	100.0
5,022,021	4.1	96.1	4,814,970	3.8	95.9	4,608,874	3.5	95.7
99,370,834	80.8	103.5	100,586,059	78.6	101.2	104,753,069	79.2	104.1
7,747,790	6.3	118.6	8,378,656	6.5	108.1	8,782,886	6.6	104.8
79	0.0	100.0	79	0.0	100.0	277	0.0	350.6
28,774	0.0	99.6	29,423	0.0	102.3	35,521	0.0	120.7
1,360,188	1.1	100.9	1,606,269	1.3	118.1	2,680,589	2.0	166.9
4,666,512	3.8	76.3	7,662,020	6.0	164.2	6,621,411	5.0	86.4
1,878,829	1.5	69.9	2,707,865	2.1	144.1	1,860,723	1.4	68.7
2,161,202	1.8	96.9	3,362,903	2.6	155.6	4,005,004	3.0	119.1
△ 19,456	△ 0.0	92.6	△ 18,279	△ 0.0	94.0	△ 15,896	0.0	87.0
-	-	-	-	-	-	2,300	0.0	皆増
645,937	0.5	53.2	1,609,531	1.3	249.2	769,280	0.6	47.8
123,040,238	100.0	102.4	127,921,516	100.0	104.0	132,326,667	100.0	103.4
110,570,541	89.9	102.1	114,607,927	89.6	103.7	118,248,011	89.4	103.2
59,327,310	48.2	103.7	60,443,850	47.2	101.9	63,558,322	48.1	105.2
58,701,887	47.7	103.7	60,298,741	47.1	102.7	62,897,493	47.6	104.3
500,000	0.4	100.0	-	-	皆減	500,000	0.4	皆増
125,423	0.1	125.7	145,109	0.1	115.7	160,829	0.1	110.8
10,451,089	8.5	97.2	11,098,647	8.7	106.2	10,674,594	8.0	96.2
4,414,200	3.6	108.3	4,356,600	3.4	98.7	3,302,100	2.5	75.8
3,586,243	2.9	99.1	3,794,146	3.0	105.8	3,713,147	2.8	97.9
-	-	-	500,000	0.4	皆増	-	-	皆減
2,397,570	2.0	80.0	2,387,412	1.9	99.6	3,592,456	2.7	150.5
33,402	0.0	97.6	32,750	0.0	98.0	32,092	0.0	98.0
19,674	0.0	71.2	27,739	0.0	141.0	34,799	0.0	125.5
40,792,142	33.2	101.1	43,065,430	33.7	105.6	44,015,095	33.3	102.2
40,036,118	32.6	103.3	40,540,394	31.7	101.3	42,173,295	31.9	104.0
756,024	0.6	47.1	2,525,036	2.0	334.0	1,841,800	1.4	72.9
12,469,697	10.1	105.6	13,313,589	10.4	106.8	14,078,656	10.6	105.7
9,146,344	7.4	104.0	9,426,344	7.4	103.1	9,426,344	7.1	100.0
9,146,344	7.4	104.0	9,426,344	7.4	103.1	9,426,344	7.1	100.0
3,323,353	2.7	110.5	3,887,245	3.0	117.0	4,652,312	3.5	119.7
2,373,622	1.9	100.0	2,373,622	1.8	100.0	2,373,622	1.8	100.0
516,874	0.4	100.0	516,874	0.4	100.0	516,874	0.4	100.0
1,856,748	1.5	100.0	1,856,748	1.4	100.0	1,856,748	1.4	100.0
949,731	0.8	149.6	1,513,623	1.2	159.4	2,278,690	1.7	150.5
-	-	-	665,000	0.5	皆増	-	-	皆減
949,731	0.8	149.6	848,623	0.7	89.4	2,278,690	1.7	268.5

(2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析

① 1m³当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表

区分		年度		平成29年度			平成30年度		
有収水量		23,368,659 m ³			23,491,734 m ³				
使用料単価	下水道使用料	金額(千円)	構成比(%)	1m ³ 当り(円)	金額(千円)	構成比(%)	1m ³ 当り(円)		
				4,212,468	100.0	180.26	4,217,749	100.0	179.54
汚水処理原価	管渠費	440,310	10.7	18.84	436,699	10.4	18.59		
	ポンプ場費	132,960	3.2	5.69	116,666	2.8	4.97		
	処理場費	836,682	20.4	35.80	900,018	21.5	38.31		
	その他維持管理費	247,677	6.0	10.60	262,133	6.3	11.16		
	支払利息等	805,580	19.6	34.47	757,713	18.1	32.25		
	減価償却費	1,647,396	40.1	70.50	1,716,390	41.0	73.06		
	計	4,110,605	100.0	175.90	4,189,619	100.0	178.34		
	(参考) 分流式下水道に要する 経費控除前	4,607,930	-	197.18	4,678,484	-	199.15		
使用料単価/汚水処理原価		1.025			1.007				

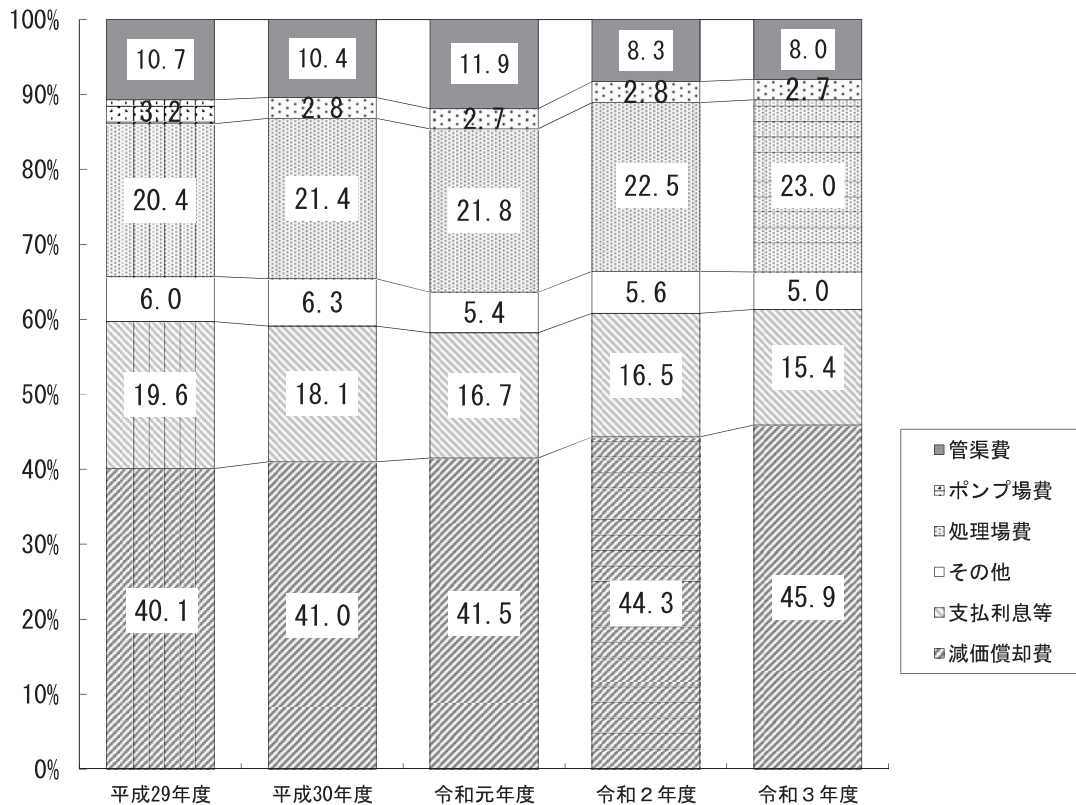
※1m³当り使用料単価＝下水道使用料÷有収水量

※1m³当り汚水処理原価＝〔経常費用－(雨水処理経費)〕÷有収水量

※減価償却費は、長期前受金戻入額を控除した額を計上

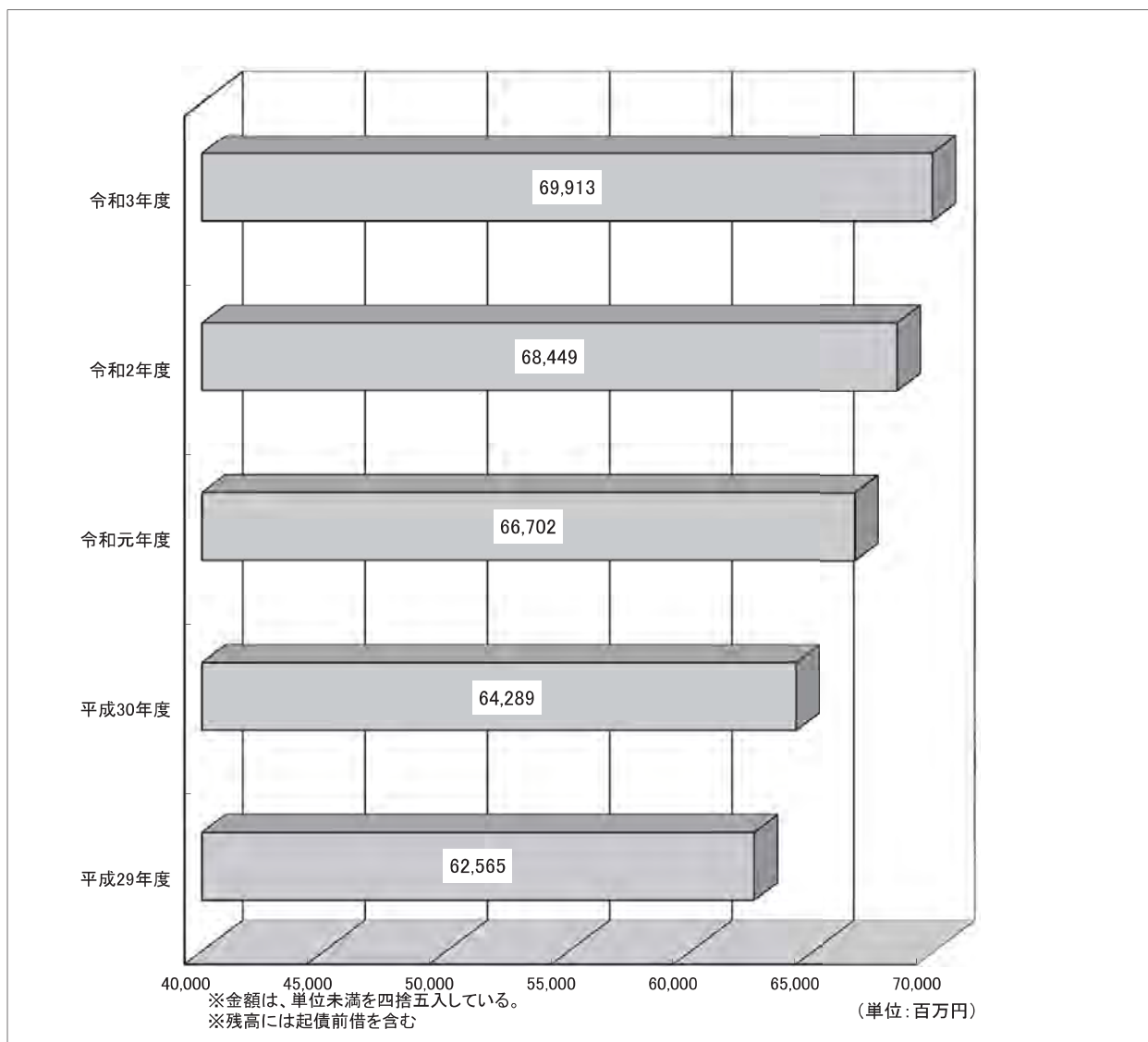
※下水道事業会計全体の単価・原価である

② 汚水処理原価構成表



令和元年度			令和2年度			令和3年度		
23,606,196 m ³			23,983,228 m ³			24,042,195 m ³		
金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)
4,228,584	100.0	179.13	4,230,931	100.0	176.41	4,258,522	100.0	177.13
507,300	11.9	21.49	352,998	8.3	14.72	355,081	8.0	14.77
112,447	2.7	4.76	119,149	2.8	4.97	120,501	2.7	5.01
925,865	21.8	39.22	948,966	22.5	39.57	1,017,260	23.0	42.31
228,384	5.4	9.67	234,823	5.6	9.79	218,572	5.0	9.09
709,486	16.7	30.06	698,474	16.5	29.12	683,310	15.4	28.42
1,764,775	41.5	74.76	1,871,084	44.3	78.02	2,034,180	45.9	84.61
4,248,257	100.0	179.96	4,225,494	100.0	176.19	4,428,904	100.0	184.21
4,723,371	-	200.09	4,645,684	-	193.71	4,796,886	-	199.52
0.995			1.001			0.962		

(3) 企業債借入残高状況



(4) 経営分析表

本市の下水道事業会計では、公共下水道(主に久留米、北野、三潞地区)と特定環境保全公共下水道(主に田主丸、城島地区)という二つの事業を実施してきたが、令和2年3月11日の下水道法事業計画の変更協議をもって、事業計画を変更し、市内全域が公共下水道となっている。

ここでは、公共下水道事業における主な指標を法適用の類似団体平均、全国平均とあわせて掲載している。

なお、統計の都合上、本市の指標は令和3年度、類似団体平均及び全国平均は令和2年度のものである。

項目	公共下水道					説明	分析
	すう勢比較			他市との比較(R2年度)			
	R1年度	R2年度	R3年度	類似団体	全国平均		
下水道普及率(%) $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}}$	84.3	85.7	86.8	80.3	80.4	行政区域内人口に占める処理区域内人口の割合で、事業の整備状況を表すものである。	未普及地域の整備途上であり、年々微増している。類似団体や全国平均より高い数値となっている。
進捗率(%) $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{全体計画人口}}$	91.9	92.1	92.8	97.6	95.9	全体計画人口に占める処理区域内人口の割合で、全体計画に対する進捗状況を表すものである。	未普及地域の整備途上であり、年々微増しているが伸び率は普及率に比べ鈍化している。類似団体や全国平均より低い数値となっている。
処理区域内人口密度(人/ha) $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{現在処理区域面積}}$	48.9	48.8	48.1	42.4	62.4	処理区域面積1haあたりの人口を表したものである。	行政区域内人口の減少や人口密度の低い地域の未普及整備等により、すう勢比較としては微減している。類似団体より高く、全国平均より低い数値となっている。
施設利用率(%) $\frac{\text{現在晴天時平均処理水量(m}^3\text{/日)}}{\text{現在処理能力(晴天時)(m}^3\text{/日)}}$	64.3	62.4	61.3	67.7	62.0	現在晴天時平均処理水量を現在処理能力(晴天時)で除したもので、施設がどの程度利用されているのかを示す。	すう勢比較としては減少傾向にある。類似団体より低い全国平均との比較では、ほぼ同水準となっている。
有収率(%) $\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間汚水処理水量}}$	84.2	80.6	84.0	70.2	73.0	処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合である。有収率が高いほど、使用料徴収の対象とならない不明水が少なく、効率的であるといえる。	令和3年度は汚水処理量は減少したが、有収水量が増加したため値が高くなっている。類似団体や全国平均より高い数値となっている。
水洗化率(%) $\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}}$	88.9	88.2	87.8	94.4	95.8	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合である。	すう勢比較としてはやや低下傾向にあり、類似団体や全国平均より低い数値となっている。

項目	公共下水道					説明	分析
	すう勢比較			他市との比較(R2年度)			
	R1年度	R2年度	R3年度	類似団体	全国平均		
使用料単価(円/㎡) 使用料収入 年間有収水量	179.1	176.4	177.1	156.5	132.3	有収水量1㎡あたりの使用料収入であり、使用料の水準を示す。	すう勢比較としては有収率と連動した動きになっており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
汚水処理原価(円) 汚水処理費 年間有収水量	181.5	178.7	177.7	156.8	132.9	有収水量1㎡あたりの汚水処理費であり、その水準を示す。 汚水処理費は、維持管理費と資本費に分けられる。 維持管理費は、日常の下水道施設の維持管理に要する経費であり、具体的には、人件費、動力費、薬品費、施設補修費、管渠清掃費等によって構成される。 資本費は、減価償却費、企業債利息(一時借入金利息は除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額である。	令和3年度の維持管理費は、管渠費の修繕費や処理場費の委託料が増大したため増大している。 資本費は減少しているが、類似団体や全国平均より高い水準となっている。
汚水処理原価(維持管理費)(円/㎡) 汚水処理費(維持管理費) 年間有収水量	75.15	69.05	71.18	73.9	70.2		
汚水処理原価(資本費)(円/㎡) 汚水処理費(資本費) 年間有収水量	106.3	109.6	106.5	82.9	62.7		
経費回収率(%) 使用料収入 汚水処理費	98.72	98.73	99.66	99.82	99.60	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す。下水道の経営は、経費の負担区分を踏まえて汚水処理費全てを使用料によってまかなうことが原則であるといわれる。 よって経費回収率は、下水道事業の経営を最も端的に表している指標といえる。	指標値が100を下回り、使用料収入で汚水処理費を賄えていない状況となっている。 すう勢比較としては、委託料や修繕費などの維持管理費に伴うものが増加傾向であり、類似団体や全国平均より、高い水準にある。
経費回収率(維持管理費)(%) 使用料収入 汚水処理費(維持管理費)	238.4	255.5	248.8	211.7	188.5		
処理人口1人あたりの維持管理費(汚水分)(円/人) 維持管理費(汚水分) 現在処理区域内人口	6,907	6,358	6,523	7,810	7,593	現在処理区域内人口1人あたりにかかる維持管理費であり、効率的な維持管理の状況を見るものである。 維持管理費には、管渠、ポンプ場、処理場及びその他の費用全てが含まれる。	令和3年度は増加したが、類似団体や全国平均より低い数値となっている。
処理人口1人あたりの資本費(汚水分)(円/人) 資本費(汚水分) 現在処理区域内人口	9,771	10,095	9,763	8,756	6,777	現在処理区域内人口1人あたりにかかっている資本費である。なお、この場合の資本費とは、減価償却費と企業債利息等である。	すう勢としては概ね横ばいである。企業債利息は低金利により減少しているため、未普及整備に伴う減価償却費の増加が要因である。 類似団体や全国平均より高額となっている。
処理人口1人あたりの管理運営費(汚水分)(円/人) 管理運営費(汚水分) 現在処理区域内人口	16,678	16,453	16,286	16,566	14,369	現在処理区域内人口1人あたりにかかる管理運営費である。この場合の管理運営費とは、維持管理費と資本費を合計したものである。	すう勢比較としてはほぼ横ばいである。類似団体とは同水準、全国平均より高い数値となっている。

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R2年度)			
	R1年度	R2年度	R3年度	類似団体	全国平均		
総収支比率(%)						総収益と総費用の比率を表したものである。単年度の収支が黒字であることを示す100%以上であることが必要である。	すう勢としては110%以上で推移しており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
総収益	110.4	113.0	111.6	109.6	106.6		
総費用							
経常収支比率(%)						使用料収入等の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示すものである。比率が高いほど良い。	すう勢としては110%以上で推移しており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
経常収益	110.6	114.9	111.5	109.6	106.7		
経常費用							
流動比率(%)						短期的な債務に対する支払能力を表す指標である。一般的に100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えていないことを意味する。	下水道事業は、建設投資の財源の多くを企業債によって調達しており、流動負債における企業債償還金の額が大きく比率は低くなる傾向にある。類似団体よりも高く、全国平均よりも低くなっている。
流動資産	44.7	69.0	62.0	60.8	67.5		
流動負債							
利子負担率(%)						有利子の負債に対する支払利息の割合であり、外部利子の平均利率を表す。利子負担率が高くなるとその後の経営を圧迫する要因の一つとなる。	すう勢比較では微減であり、類似団体や全国平均よりも低い数値である。
支払利息+企業債取扱諸費	1.3	1.2	1.2	1.6	1.5		
企業債+長期借入金+一時借入金							
自己資本構成比率(%)						総資本に占める自己資本の割合であり、財政状態の長期的な安全性を見る指標である。	令和3年度は固定負債の企業債の増加に伴い相対的に数値が減少した。類似団体や全国平均よりも低い数値となっている。
自己資本金+剰余金	43.3	44.1	43.9	58.4	62.0		
+評価差額等+繰延収益							
負債・資本合計							
固定資産対長期資本比率(%)						自己資本構成比率と同じく、事業の固定的・長期的安全性を見る指標で、資金が長期的に拘束される固定資産が、どの程度自己資本や長期借入金によって調達されているかを示す。	令和3年度は増加しており、類似団体や全国平均より高い数値となっている。
固定資産	105.1	102.9	103.3	101.7	101.5		
固定負債+資本金+剰余金							
+評価差額等+繰延収益							
処理区域内人口1人あたりの企業債現在高(千円/人)						企業債現在高を処理区域内人口で除したものである。	未普及整備や浸水対策に投資しており、企業債残高は増加傾向となっている。類型他市や全国平均より高い数値となっている。
企業債現在高	260	263	266	221	186		
現在処理区域内人口							
企業債残高対事業規模比率(%)						使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。	未普及地域の整備途上にあり、企業債残高は増加傾向となっている。類型他市や全国平均より高い数値となっている。
企業債現在高—一般会計負担額	1,116.5	1,156.9	1,151.8	920.8	703.9		
営業収益—受託工事収益							
—雨水処理負担金							

※この表における類似団体は、以下をすべて満たすものである
(公共下水道)

- ・地方公営企業法適用団体
- ・処理区域内人口100千人以上
- ・処理区域内人口密度が1haあたり50人未満

(5) キャッシュ・フロー計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	765,067
減価償却費	3,817,807
退職給付引当金の増加額	15,720
賞与引当金の減少額	△ 657
貸倒引当金の減少額	△ 2,383
長期前受金戻入額	△ 2,116,640
支払利息及び企業債取扱諸費	789,240
固定資産除却損	33,480
固定資産売却損	27
未収金の増加額	△ 777,829
貯蔵品の増加額	△ 2,300
未払金の減少額	△ 45,525
預り金の増加額	7,060
小計	2,483,067
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 789,240
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,693,827
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 7,033,485
有形固定資産の売却による収入	25
国庫補助金等による収入	2,527,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,505,792
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	1,400,000
一時借入金の返済による支出	△ 1,400,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,759,500
その他の企業債による収入	195,800
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,258,338
その他の企業債の償還による支出	△ 535,808
企業債前借による収入	3,302,100
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金による収入	500,000
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金返済の支出	△ 500,000
他会計からの繰入による収入	501,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,964,823
資金増加額(又は減少額)	△ 847,142
資金期首残高	2,707,865
資金期末残高	1,860,723

キャッシュ・フロー計算書について

企業経営の評価は、売上高（市場占有率）や経常利益で判断するのが一般的です。

しかし、企業の資金は、営業活動だけでなく投資及び財務活動においても資金の収支があり企業全体で資金を管理する必要があります。

また、内部留保資金の内訳が表示されるとともに、投資活動における資金の手当先が明示され企業活動における資金の移動がわかりやすくなります。

そこで、利益とは別の視点から資金の流れを把握するため「キャッシュ・フロー計算書」があります。

キャッシュ・フロー計算書の区分について

キャッシュ・フロー計算書には、ⅠからⅢまでの三つの区分があります。

Ⅰ「業務活動によるキャッシュ・フロー」

主たる営業活動からどの位資金を獲得したかを示すもので、通常、これにより獲得した資金が投資活動に使われます。

Ⅱ「投資活動によるキャッシュ・フロー」

施設整備拡充等の投資活動における資金の流れを示すものです。

Ⅲ「財務活動によるキャッシュ・フロー」

営業及び投資活動を維持するために、どの程度資金が調達または返済されたかを示すものです。

令和3年度キャッシュ・フローについて

【業務活動での収支】

業務キャッシュ・フローでは、純利益 765,067 千円、内部留保資金である減価償却費 3,817,807 千円の発生が、資金の主な増加要因となっています。

一方、長期前受金戻入の発生額 2,116,640 千円、利息の支払額 789,240 千円が資金の主な減少要因となっています。

この結果、業務活動によるキャッシュ・フローは1,693,827 千円となっています。

【投資活動での収支】

投資キャッシュ・フローでは、工事に係る補助金等の収入 2,527,668 千円が資金の増加要因となっています。

一方、有形固定資産の取得による支出 7,033,485 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△4,505,792 千円となっています。

【財務活動での収支】

財務キャッシュ・フローは、企業債（起債前借含む）の借入れ 5,257,400 千円が資金の主な増加要因であり、企業債の償還 3,794,146 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは1,964,823 千円となっています。

以上により、令和3年度における、期中の現金及び現金同等物の増減額は 847,142 千円のマイナスとなりました。